

第14回 海岸勉強会メモ(案)

日時:平成21年2月18日(水)

19:00~21:00

会場:住吉公民館

[参加者]

- ・一般の方: 33名 (コンサルタント等含む)
- ・行政担当者等: 13名 (宮崎県:河川課・港湾課・中部港湾事務所、国交省:宮崎港湾空港整備事務所・宮崎河川国道事務所、宮崎市:土木課)

【説明内容】

- ・「利用者から見た海岸について」
説明者: 檣浜漁協 組合長 河野 正氏、井野 清次氏
- ・「宮崎海岸市民談義所の進め方について」

【報告内容】

- ・宮崎の海岸シンポジウムについて
- ・技術分科会について
- ・海岸よろず相談所の案内

【質疑、意見等】

利用者から見た海岸について

- ◇地引網の機械小屋の設置場所は波打ち際から何メートルくらいか
→機会小屋の間隔は 120m くらい。場所は波打ち際から 100m 以上はあったと思う。
- ◇ 地引網はどのあたりで何人くらいやっていたのか
→30 人くらい。昔は住吉から佐土原までやっていた (最盛期は 5 箇所くらい)。山崎が一番最後までやっていた。
- ◇ やめた理由は何か。漁業権の放棄と港工事着工の時系列はどうなっていたのか。
→宮崎港の問題 (漁業権を放棄したため)
- ◇ 砂浜の変化はどうだったか
→時期 (季節) 的に夏は浅く冬は深かった。
- ◇ 漁をしていて最近思うことは
→水温が上がって魚種が変わった (南方系が多くなってきた)。魚はだんだん獲れなくなってきた。
- ◇ 過去との比較で実感していることが何かあるか
→潮騒の音、磯の香りがしなくなった。
ごみが多い。特にビニールは分解しない。漁にも影響する。
- ◇ アカウミガメが網にかかったことはあるか
→かかったことがある。(夏だけでなく冬も) 網を壊される。

宮崎海岸市民談義所の進め方について

- ◇ 人を集めるためには、日時や場所ではなく内容を考慮すべき。おもしろければ口コミで広がる。

- ◇ 利害が対立する問題には触れられないのでは
- ◇ 広く参加してもらうことと議論の積み上げは両立しないのではないか
- ◇ 始めてきた人へのフォローが重要。時間をうまく使って勉強とワークショップのような形を並行して実施していければよいのではないか
- ◇ 今までの経緯等が分からないと、ただ参加するだけで交流もできずに帰ることになりかねない。

【次回以降の予定等】

- ・ 第15回勉強会は、平成21年3月17日（火） 住吉公民館
- ・ 津波について